

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷の文化・観光事業

事業名	事業内容
1 阿波人形浄瑠璃の上演 10,630,000円	
(1)定期公演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別期間(8月11日～16日) 太夫・三味線付き公演 1日4回</li> <li>・上記以外の期間 土日祝日 太夫・三味線付き公演 1日2回 平日 録音音源を利用した上演 1日2回</li> </ul> <p>※演目の概要だけでなく、阿波人形浄瑠璃の特色や発展の経緯、鑑賞のポイントをわかりやすく解説し、上演した。</p>
(2)特別公演・派遣公演	<ul style="list-style-type: none"> <li>①特別公演 旅行エージェントやグループ旅行などの要請に応じて、定期公演以外に特別公演を実施した。 19回(観客数667人) うち太夫・三味線付き上演8回</li> <li>②派遣公演 ・県外公演／林昌寺(大阪府)、豊田市能楽堂(愛知県)、西宮神社(兵庫県)、阿倍野ハルカス(大阪府) ・県内公演／池田中学校、城の内中学校、障害者プラザ</li> </ul>
(3)特別企画公演の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「人形じょうり 徳島の美学」公演 6月～2月 19回開催 人形浄瑠璃振興会所属の人形座13座、一般の人形座 6座</li> <li>②後継者団体公演 川内・藍住人形浄瑠璃クラブ(3/29)、城北高校民芸部(2/1)</li> </ul>
2 阿波人形浄瑠璃の魅力の創造 600,056円	
(1)農村舞台ツアー	<p>春秋の主な農村舞台公演について、県内外の人を対象としたバスツアーを実施する。車内では、阿波人形浄瑠璃と農村舞台の魅力や、農村舞台のある地域の文化資源についての解説を行った。</p> <p>5月17日 拝宮農村舞台 21人 6月29日 川又農村舞台 28人 9月28日 北川舞台(催行人員に達せず中止)</p>
(2)徳島じょうりクルーズ	<p>新町川を守る会等との連携により、吉野川～阿波藍～阿波人形浄瑠璃という徳島の文化史を楽しくたどるツアーを実施した。</p> <p>6月～10月 延べ12回244人</p>
(3)新作・コラボレーション	<p>「人形じょうり 徳島の美学」公演の中で、朗読、邦楽と人形のコラボレーションで「雪女」を上演した。</p>
(4)人形浄瑠璃街道公演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人形じょうり 徳島の美学」公演の中で、八王子車人形の西川古柳座の公演(11/24)を実施した。</li> <li>・阿波十郎兵衛屋敷えびす祭り(1/11)のゲストに、淡路だんじり唄を招聘した。</li> </ul>

3 展示業務 27,963円	
(1)調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の人形文化調査(床本、太夫衣装の収集)</li> <li>・農村舞台調査結果の整理、ホームページへの掲載</li> <li>・地域の文化資源調査(遊山箱と家重)</li> </ul>
(2)常設展示の 効果的運営	職員やボランティアガイド等により、展示資料をもとに阿波人形浄瑠璃の特色を解説するほか、体験用の人形を遣いながら人形が生きているように見えるためのポイントを伝えたり、実際に人形を持ってもらい、操作の難しさを実感してもらうなど、公演鑑賞をより充実したものにするとともに、上演していない時間帯に訪れたお客様にも十分満足していただけよう配慮した。
(3)企画展示コーナー等の活用	三番叟、明治時代の太夫番付、太公望(寄井座)、武者人形展(母屋)
4 教育普及事業 550,000円	
大人の人形浄瑠璃鑑賞講座・人形浄瑠璃とくしま座公演 12回(毎月1回)	
5 情報の収集と発信 864,000円	
<p>インターネットやマスコミ等を活用しながら効果的な情報の収集、発信に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設パンフレット(日本語版、英語版)</li> <li>②インターネット(ホームページ、フェイスブック等)</li> <li>③各種メディアの活用(新聞、テレビ、タウン誌等)</li> </ul>	